



中 1

【前半】授業時間数

国語・数学・英語 各教科 40 分×4 日間
理科・社会 40 分・理科と社会を交互に開講×4 日間

【授業内容】

身につく学力 《記号は 6 つの力》	
国語 聖書の世界を学ぶ	
12 月といえば、日本でも多くの方がクリスマスを楽しみますが、そもそもクリスマスとはどういう意味なのでしょう。なぜ 12 月 25 日に祝うのでしょうか。クリスマスツリーの上に飾られているあの星は何なのでしょう。その背景には、実は紀元前にまでさかのぼる壮大な歴史と神話のドラマがあるのです。ヨーロッパの言語、文化、物語すべてに大きな影響を与え、その善悪の判断すら左右するキリスト教文化を読み解く授業です。	<ul style="list-style-type: none"> ●物語のメッセージを読み解く力 ●異なる文化の背景理解 《A・B・D》
数学 幾何学はここから始まった ～作図を学ぶ～	
幾何学（きかがく）というのは数学の「図形分野」のことで、英語では「geometry」と言います。geometry の語源は「geo(土地) + metry(測量)」から来ています。つまり、数学の図形分野は「土地の測量」から発展してきたということです。冬期講習では幾何学の始まりである「土地の測量」を、コンパスと定規を使って追体験しながら、「作図」について学んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> ●作図方法の根本理解 ●情報を図式化する力 ●論理的な考え方 《A・B・C・E》
英語 長文精読 ～世界マップを読む～	
冬期講習では、世界中の名所旧跡について英語で説明した文章を文法事項と辞書を使いながら読み、「クセジュ世界マップ」を作成します。これまで「パーツ」として学んできた文法事項の使い方と同時に、英語を通して世界の様々な文化を学んでいくのがクセジュ流。文法というツールと英文を読む方法、そして世界を知る楽しさ。この三つを一気に手に入れます。	<ul style="list-style-type: none"> ●今までに学んだ文法事項の定着 ●世界の文化に対する教養 《A・B・C・E・F》

期間

【前半】 12/25 (水) ～12/28 (土) 5 教科・4 日間
【後半】 1/4 (土) ～1/7 (火) 科目選択・3 日間+学力テスト (5 科)

【冬期休塾期間】 12/29 (日) ～1/3 (金)

※12/29 (日)・30 (月) はウインタースクールを開講します。(希望者対象・有料)

身につく学力 《記号は 6 つの力》	
理科 '力'の力をつける冬 PART1	
中 1 の単元でありながら、物理分野の根本的理解を左右するのが、「力と圧力」です。基礎を再確認しながらしっかり復習していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ●重要単元である力学の基礎 《A・B・C・E》
社会 文化から学ぶ日本史 I ～古典文学から学ぶ～	
古典文学は面白さだけでなく、歴史の資料としても重要な役割を持っています。背景知識としての歴史を知っているからこそ、古典を面白く読むことができます。有名な古典作品に触れながら、その背景にある歴史を学んでいきます。	<ul style="list-style-type: none"> ●古代から中世の歴史知識 ●古典を読む力 《A・B・C》

【後半】授業時間数

国語・数学・英語 3科目から1教科選択（120分×3日）

理科・社会 2科目から1教科選択（40分×3日）

【授業内容】科目選択式

国語・数学・英語から1教科選択	身につく学力《記号は6つの力》
国語 クセジュ流「考える」文章講座	
<p>たとえば私たちの時代の大きな課題となっている「地球温暖化問題」。これを克服するためには、全ての国々が等しくCO2排出を抑えるべきなのでしょうか。しかし、それはこれから経済発展していこうとする途上国にとっては「不平等で不条理」なのではないでしょうか。重要で根本的な問題ほど、単純には割り切れない二面性を持っています。</p> <p>このように意見の分かれる問題について、複数の意見を比較検討し、そのうえで自分の考え方を文章にするノウハウを学びます。多角的に考えることを目指す3日間です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数の意見を比較検討し、物事の二面性を理解する力 ● 自分の考え方を、説得力のある文章で述べる技術 <p>《C・E・F》</p>
数学 作図の探求	
<p>前半で学んだ作図について、さらに探究します。本来は上位学年で学習する図形の性質についても扱い、より深く作図を理解できるようにしていきます。入試問題やオリジナル難問も用意しているのでぜひチャレンジしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● さらなる図形の性質の知識 ● 知識を生かした発想法 <p>《B・C・E・F》</p>
英語 GS理論先取り講座	
<p>GS理論とは、英語の文構造を3つの視点（グループ・品詞・文型）で解釈するクセジュオリジナル英文解釈法です。</p> <p>これを中1のうちから先取りして習得することによって、中学2年生で学ぶ内容を「品詞」「文型」という視点で多角的に理解することができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「名詞」「動詞」「形容詞」「副詞」の4つの品詞の観点 ● 接続詞の習得及び句と節の考え方の習得 <p>《A・B・C》</p>

理科・社会から1教科選択	身につく学力
理科 カ'の力をつける冬 PART2	
<p>前半の2日間で復習したことをもとに、様々な応用問題にチャレンジしていきます。「クセジュ流力学理論」に基づいて改めて学び、入試問題にも挑戦しながら後々にまで残る知識としていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 入試問題レベルに通用する応用力 <p>《B・C・E》</p>
社会 文化から学ぶ日本史Ⅱ～建築物・芸術作品から学ぶ～	
<p>文化は古典に限ったものではありません。建築物や芸術作品なども、私たちに歴史を教えてください。それらの名称をただ覚えるだけでなく、どのような経緯で誕生したのかを知ることで、作品だけでなく歴史の理解も深めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 古代から中世の文化史 <p>《A・B・C》</p>